

# CSM : 非参照アクセス リストの保持方法

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Security Manager ( CSM ) の導入時に他の CLI コマンド ( access-group など ) で使用されていない参照アクセス リストを保持する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントは、CSM がインストールされ、適切に動作することを前提としています。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CSM 3.0.1 以降に基づくものです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 問題

CSM の導入時の問題は、他の CLI コマンド ( access-group など ) で使用されていない参照アクセス リストを保持する方法です。

たとえば、PIX 設定にアクセス リストがあってもアクセス グループの一部ではない場合です。CSM は PIX を管理し始めるときに、デフォルトではこれらのアクセス リストを削除します。

## [解決策](#)

問題を解決するには、次の解決策を使用してください。

1. CSM クライアントから、[Tools] > [Security Manager Administration] > [Deployment] を選択し、[Remove Unreferenced Access-lists on Device] チェックボックスを確認します ( デフォルトで有効 )。
2. このオプションをオフにします。

## [関連情報](#)

- [Cisco Security Manager に関するサポート ページ](#)
- [Cisco PIX Firewall ソフトウェア](#)
- [Cisco Secure PIX ファイアウォール コマンド リファレンス](#)
- [セキュリティ製品に関する Field Notice \( PIX を含む \)](#)
- [Requests for Comments \( RFC \)](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)